平成 27 年度決算の概要

平成 27 年度より学校法人会計基準が改正され、企業会計の損益計算書に相当する従来の消費収支計算書に代わり事業活動収支計算書により平成 27 年度と平成 26 年度を比較して本学の経営状態を説明します。

収入のうち、学生生徒等納付金は、学部学生数の減少により **92,403** 千円減の **1,888** 百万円でした。寄付金収入は、父母の会・同窓会等からの寄付により **1** 千万円でした。補助金収入は、国や東京都・杉並区等からの交付金ですが **4 億 27** 百万円増の **6 億 35** 百万円でした。増加の原因は私立学校施設整備補助金によるものです。これらの収入の合計である事業活動収入計(企業会計の収益に相当)は **79** 百万円増の **27 億 21** 百万円でした。

学校法人が教育研究水準を維持・向上していくために事業活動収入の中から組み入れた基本金の額は **7** 百万円減の **2 億 4** 千万円でした。

支出の内、人件費は、**1 億 4** 百万円減の **13 億 25** 百万円でした。旧 **1** 号館解体費 **1 億 26** 百万円を含め、**1 億 39** 百万円増の **8 億 73** 百万円でした。管理経費は **27** 百万円減の **1 億 98** 百万円となりました。借入金等利息は登戸グラウンド取得の為の借入金の利息です。これらの支出の合計である事業活動支出計(企業会計の費用に相当)は、**1 億 81** 百万円増の **25 億 73** 百万円でした。

基本金組入前当年度収支差額は **1 億 49** 百万円となり、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を引いた当年度収支差額は△**92** 百万円となりました。